

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) notoな家		(地域型住宅供給対象地域) 石川県内				
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 世界農業遺産「里海里山」が育む住まいの会		(結成年月) 平成24年11月				
3. 代表的な地域材の 名称・産地・認証制度等	(名称) 能登ヒバ、能登材	(産地) 石川県能登	(認証制度等) 合法木材				
4. 地域型住宅の生産体制による具体的取組及び役割分担についての説明 (必須)							
具体的取組	対象者						
	会員	顕在ユーザー	顕在ユーザー				
			構想～設計	設計～契約	着工～完了	完了～入居	入居～維持管理
(1) 地域型住宅の信頼性を確保するための具体的取組 (必須)	構成員の知識と技術の向上を目的とする講習会、勉強会、情報交換		構造見学会等を開催し、実物で確認してもらう				
	維持管理における、グループ内での代行管理のルールを作る事により、施主の財産を守る。						
(2) 地域型住宅の適切な維持管理のための具体的取組 (必須)	点検方法、メンテナンスやリフォームの工法を施工者、施主と共に検討会を開催し、長期優良住宅の認識と意味を深め維持する。						
	維持管理マニュアルの作成とそれに基づく管理と点検					維持管理マニュアルの作成とそれに基づく管理と点検	
	管理会社への						
(3) 地域型住宅の普及を促進するための具体的取組 (必須)		完成見学会等の開催により広く認識してもらえるよう務め					
		各イベント等の参加によりグループを広く認知して頂					
	HP等の作成により能登情報や建物情報等をタイムリーに伝える。						
(4) 地域の住宅生産技術の継承に関する具体的取組 (必須)	地域型伝統工法や名称等の					地域型伝統工法や名称等の調査と伝	
	里山里海に育まれた建築儀礼の調査と復興イベント等の開催						
(5) 新しい住宅生産技術の導入に関する具体的取組 (任意)	建築関係の展示会等へグループで参加						
	地域ブランド化事業他グループの内見会等へ参加し知見を深める。						
(6) 資源の循環利用に関する具体的取組 (任意)			枝打ち、間伐、伐採、植林等の作業の体験イベントの開催。				
			建築廃材等の木質燃料(薪、など)への利用促進。現在でも能登の塩作りや珪藻土のコンロづくりで燃料として使われているが更に家庭用などに進める。				
(7) 災害時の応急仮設住宅供給に関する具体的取組 (任意)	間伐材を使った簡易建物の具体的検討と商						
	災害時の為に木質燃料をストックしておく。	災害時の為に木質燃料をス				災害時の為に木質燃料をストックして	
(8) 地域型住宅の生産に関する人材育成その他の取組 (任意)	技術検討会の						
	新規グループ構成員の募集によりブランド						

注1) 地域型住宅の生産体制による具体的取組及び役割分担について、図表等を用いてわかりやすく説明してください。

注2) 原則として、1枚に収めてください。